

第2回「長野県は宇宙県」
ミーティング@長野高専

2018.02.03



「長野県は宇宙県」 この1年のまとめ

衣笠 健三

「長野県は宇宙県」連絡協議会事務局
国立天文台 野辺山宇宙電波観測所







大天井岳

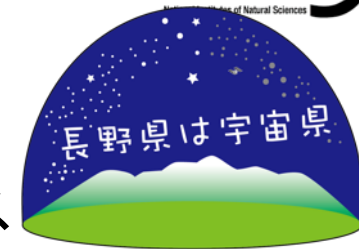


撮影:大西浩次

長野県は宇宙県

☆ 第一回「長野県は宇宙県」ミーティング

- 2016年11月23日(祝) 12:00-13:30 @信大松本キャンパス
- 県内天文関係者(研究者、科学館、星の会など) 約100名が参加
- 各施設紹介と「松本宣言」



松本宣言

長野県がもつ「宇宙に近い」というすばらしい資産を多くの人たちと共有し、その魅力を広く伝えていくことにより、長野県の地域振興、人材育成、観光、天体観測環境維持に寄与することを目的とする。また、参加する団体・個人は、この目的のために、お互いの特徴を認めつつ、協力をし活動する。



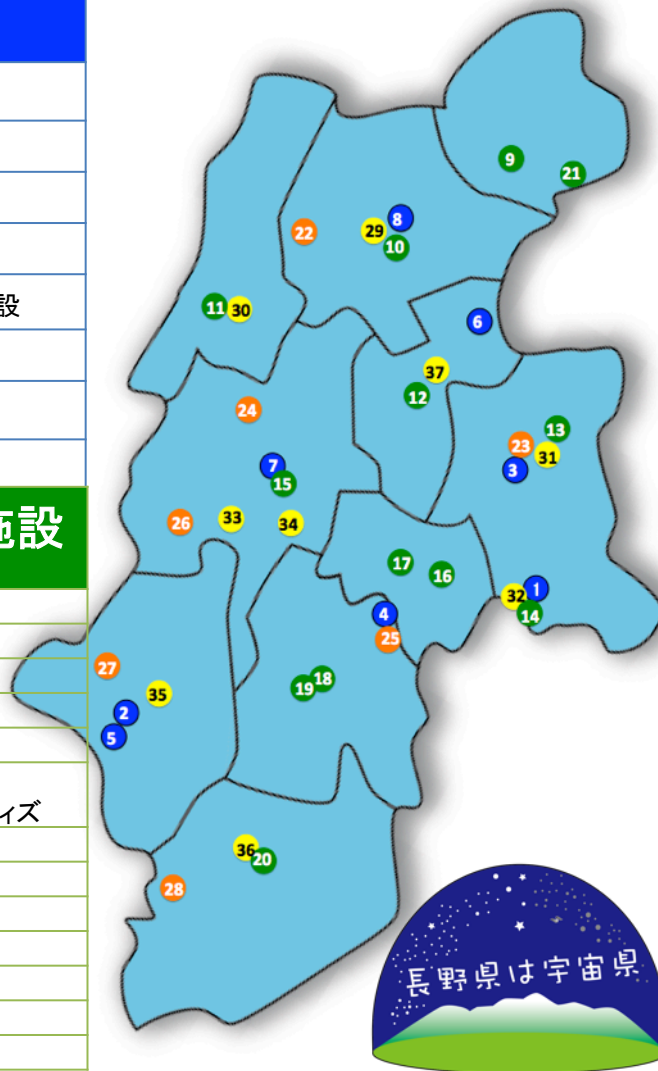
長野県は宇宙県マップ

☆ 天文研究・観測施設

- 1 国立天文台野辺山宇宙電波観測所
- 2 東京大学木曾観測所
- 3 JAXA臼田宇宙空間観測所
- 4 JAXA入笠山光学観測所
- 5 名古屋大学宇宙地球環境研究所木曾観測施設
- 6 電気通信大学菅平宇宙電波観測所
- 7 信州大学観測天文学グループ
- 8 国立長野高等専門学校

☆ 科学館・プラネタリウム施設

- 9 中野市立博物館
- 10 長野市立博物館
- 11 大町エネルギー博物館
- 12 上田創造館
- 13 佐久市子ども未来館
- 14 南牧村農村文化情報交流館ベジタボール・ウィズ
- 15 松本市教育文化センター
- 16 八ヶ岳自然文化園
- 17 茅野市八ヶ岳総合博物館
- 18 伊那市創造館
- 19 長野県伊那文化会館
- 20 飯田市美術博物館
- 21 志賀高原ロマン美術館



長野県内における、第一回「長野県は宇宙県」ミーティングの参加者、その後主旨に賛同してMLに加わった方の施設や団体の所在地(自治体、教育委員会、学校などは含まず)

☆ 公開天文台施設など

- 22 小川村星と緑のロマンピア(小川天文台)
- 23 うすだスタードーム
- 24 カフェ風のいろ
- 25 マナスル山荘新館
- 26 高ソメキャンプ場
- 27 おんたけ銀河村キャンプ場
- 28 スタービレッジ阿智

☆ 天文同好会・星の会※

- 29 しなの星空散歩会きらきら
- 30 大町エネルギー博物館友の会フォーマルハウト
- 31 信州佐久星空案内人の会
- 32 野辺山星の会
- 33 朝日村天文同好会
- 34 塩尻星の会
- 35 木曾星の会
- 36 飯田御月見天文同好会
- 37 信州衛星研究会

長野県といえは...

- 多くの天文施設

- 国立天文台・野辺山宇宙電波観測所
- 東京大学木曾観測所
- JAXA臼田宇宙空間観測所
- 電通大菅平宇宙電波観測所 etc.

- 美しい星空

- 多くのプラネタリウム

- 油井宇宙飛行士の出身地

➡ 日本で最も”宇宙”が身近な地域

- 日本の屋根

- 平均高度、平均居住高度とも日本一

全国星空継続観察(環境省)
H18夏季調査にて長野県阿智村
を日本一に選定

南牧村が、天文学者が選ぶ
「日本三選・星名所」のひとつに

- さかんな航空宇宙産業

信州大学ぎんれいプロジェクト
宇宙航空部品製作

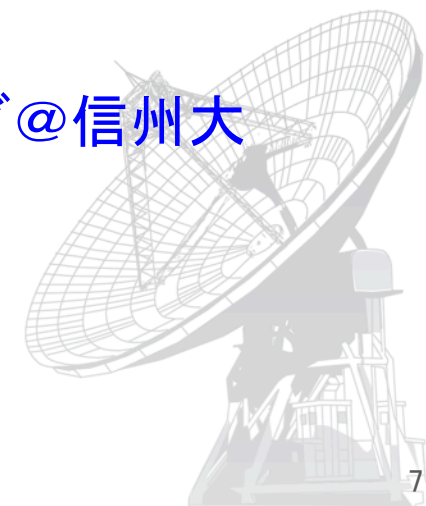
長野県は宇宙県



長野県は宇宙県

☆それまでの経緯

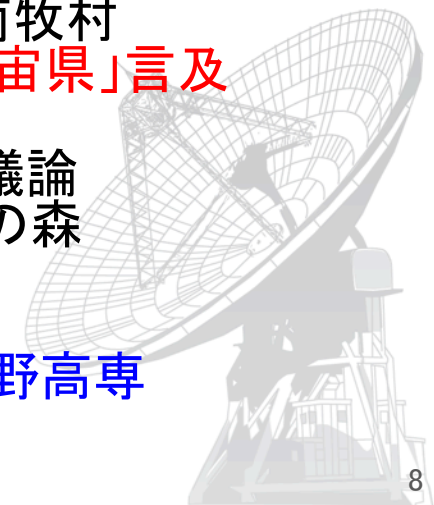
- 2015年7月 野辺山観測所内にて発案
 信州大学、高等教育コンソーシアム信州にて提案
 来所された県会議員、地元国会議員にもPR
- 2016年3月 川上村「亀の恩返し」野辺山所長(当時)と阿部知事
- 2016年5月 長野県プラネタリウム協議会@佐久にて発表
- 2016年7月 東大木曾観測所 木曾観測所長と阿部知事
- 2016年7月 天文研究施設会議 開始(野辺山、木曾から)
 国立天文台本部へ周知
- 2016年9月 長野県庁を訪問
- 2016年11月 第一回「長野県は宇宙県」ミーティング@信州大
 松本宣言



長野県は宇宙県

☆それからの経緯

- 2016年11月 **第一回「長野県は宇宙県」ミーティング@信州大**
- 2016年12月 ホームページ公開、ML作成、SNS開始
- 2017年1月 毎日新聞長野版連載、星ナビ2月号記事
- 2017年2月 ロゴ決定、阿智村訪問、**設立趣意書作成**
- 2017年3月 天文学会、星空案内人シンポジウムにて発表
臨時コアミーティング@佐久
- 2017年5月 「サマースタンプラリー」のクラウドファンディング実施
- 2017年7月 「サマースタンプラリー」イベント実施
(信州DC、各種メディアにて告知しました)
- 2017年9月 「サマースタンプラリー」アンケート集計
- 2017年10月 「星空の街、あおぞらの街全国大会」信州南牧村
知事挨拶にて「長野県は宇宙県」言及
- 2017年11月 **第2回コアミーティング@野辺山**
長野県プラネタリウム協議会@長野にて議論
長野県天文愛好者連絡会(仮称)@あがたの森
「サマースタンプラリー」報告書完成
- 2018年1月 **第3回コアミーティング@TV会議**
- 2018年2月 **第二回「長野県は宇宙県」ミーティング@長野高専**



設立趣意書

「長野県は宇宙県」連絡協議会 設立趣意書

1. 趣旨

「長野県」は、その平均高度、平均居住高度が日本一であり、文字通り宇宙に最も近い県です。それだけでなく、環境省(当時)が主催した全国星空継続観察 H18 夏季調査にて日本一となった阿智村、天文学者選んだ日本三選星名所のひとつに選ばれた南牧村などをはじめとする美しい星空をもつ県でもあります。川上村出身である油井宇宙飛行士も年少の頃にみた美しい星空が宇宙へのあこがれの原体験だと語っています。さらに、国立天文台野辺山宇宙電波観測所、東京大学大学院理学研究科木曾観測所など多くの天文観測研究施設も存在し、プラネタリウムは 11 施設と人口比の数としてはトップレベルです。また、宇宙航空産業もたいへん盛んであり、高い技術を誇っています。

このように、「長野県」は宇宙に関してたいへん優れた環境にありながら、県外だけでなく、県内でもあまり意識されていないのが現状です。このようなすばらしい環境は一度失われると容易に戻ることはありません。そのため、昨年 11 月に、県内の天文に関わる方々を中心として、「長野県がもつ「宇宙に近い」というすばらしい資産を多くの人たちと共有し、その魅力を広く伝えていくことにより、長野県の地域振興、人材育成、観光、天体観測環境維持に寄与することを目的とする。また、参加する団体・個人は、この目的のために、お互いの特徴を認めつつ、協力をし活動する。」とした松本宣言を採択しました。その後も、この松本宣言に賛同する方々に声をかけて、メーリングリストに入ってもらうことで協力する団体や個人が増えています。さらに、これまでも NHK、信濃毎日新聞、毎日新聞などのメディアからも協力を頂き、番組や誌面にて、活動を報道して頂いています。

今回、組織化するに至ったのは、今後の活動を実施するにあたって、公共団体や各法人等からの支援や後援をうけるために必要であるからです。各会員の活動についても、組織として相互に協力することもさらに期待できると考えています。

2. 経緯

- 2015 年 8 月 国立天文台野辺山にて「長野県は宇宙県」のコピーができる
- 2016 年 3 月 長野県知事にお知らせする
- 2016 年 7 月 長野県内天文観測研究施設を中心に活動を開始する
- 2016 年 11 月 長野県内外の天文関係の方々を中心に松本宣言を採択

平成 29 年 2 月 28 日

「長野県は宇宙県」連絡協議会

代表者 国立天文台野辺山宇宙電波観測所長

齋藤 正雄



ウェブ、SNS、ロゴ



長野県は宇宙県

- ホーム
- 長野県は宇宙県
- 第2回ミーティング
- スタンプラリー
- リンク集

Twitter Facebook

はじめに

長野県は日本の中でも特に宇宙と関わりが強い県です。はもとより、多くのプラネタリウム、天文同好会、多くの天文研究施設、また、長野県出身の油井宇宙飛行士がありました。そこで、「長野県は宇宙県」を合言葉とあわせて「宇宙に近い」というすばらしい資産をみなさんにお伝えし、この長野県の魅力を広く伝えていこうと、「宇宙」を観光・教育資源として活かしていく活動をこのような活動を推進するため、まずは長野県内の天文愛好家を中心とした連絡協議会を立ち上げました。今後、長らく観光振興や教育活動に、天文・宇宙を積極的に取り入れるための素材や情報などを提供したいと思っております。

お知らせ

2018-1-5	第2回「長野県は宇宙県」ミーティングのご案内
2017-11-16	「サマースタンプラリー2017実施報告書」が完成しました。
2017-8-31	「サマースタンプラリーイベント」は終了しました。
2017-5-18	第一弾企画「サマースタンプラリーイベント」開催
2017-3-23	4/22(土)、5/27(土)に「デジタル星空診断」開催
2017-3-18	3/29(水) 17:40-17:50 にてNHK BSプレミアム「冬〜」が放映されます。
2017-2-17	金星最大光度の日、ロゴを決定しました！
2016-12-27	Facebookページをはじめました。
2016-12-16	twitterをはじめました。
2016-12-14	MLを作成しました。
2016-11-25	ウェブサイトを公開しました！
2016-11-1	ウェブサイトを立ち上げました！

イベントスケジュール

「長野県は宇宙県」の活動をご紹介します。

2018-1-5	第2回「長野県は宇宙県」ミーティングのご案内
2017-7-12	「スタンプラリーキックオフイベント in 上田創造館」開催
2017-5-26	第一弾企画「サマースタンプラリーイベント」の開催
2016-11-23	第一回「長野県は宇宙県」ミーティングにて、松本宣言
2016-11-02	第一回「長野県は宇宙県」ミーティングのお知らせ(第1弾)



Kenzo Kinugasaさん、長野県は宇宙県チームの情報交換と共同作業を活発にしましょう
Workplace by Facebookを使えば、同僚とつながりながら、アイデアをシェアできます。グループ数、メッセージ数、通話数、ストレージ容量の制限なく、無料で利用できます。ビジネス向けに考案されたサービスです。
Workplaceを無料で利用

長野県は宇宙県!!

ツイート 41 | フォロー 1 | フォロワー 156 | いいね 1 | モーメント 0

自分がつツイート
Shin-ya Narusawa (@Oono_san) 3月6日
今回は、惑星状星雲、エスキモー星雲と 人間はみなホモ・サピエンス、同じ地球人です、という話題です。連載記事「知求人・宇宙の扉・科学の目」信濃毎日新聞 今日の日刊。信州の皆様 お読みください。 #長野県は宇宙県

おすすめユーザー
きゃりーぱみゅぱみゅ...
はじめしゃちょー (hajim...)

長野県は宇宙県
@uchukuen_nagano

2016年12月に登録

第2回「長野県は宇宙県」ミーティングのご案内

「スタンプラリーキックオフイベント in 上田創造館」

第一弾企画「サマースタンプラリーイベント」の開催

第一回「長野県は宇宙県」ミーティングにて、松本宣言

第一回「長野県は宇宙県」ミーティングのお知らせ(第1弾)

長野県は宇宙県

長野県は宇宙県

第2回「長野県は宇宙県」ミーティングのご案内

2月22日

広報活動

NHK BS コズミックフロント☆NEXT

ナビゲータ:大西浩次氏(長野高専教授)

- 「長野県は宇宙県 冬・春・夏・秋」(各10min.)

毎日新聞(長野版)

- 2017年1月1日～12日(全10回)「星空を見上げて」

信濃毎日新聞

- 2016年10月～2017年3月の月曜
「宇宙の目科学の目 知・究・学」(鳴沢真也氏)

文化放送(キー)、信越放送

- 2017年12月10日放送
「峰竜太とみんなの信州」#10 (大西浩次氏)

他にも、新聞や雑誌、ラジオなどにて取り上げられています。



講演活動

衣笠健三

- 上田六中ふれあい天文学
- 天文学会春季年会@福岡
- 星空案内人シンポジウム@佐久
- 長野県創業セミナー@伊那
- 塩尻ロマン大学@塩尻市

、、、把握していません。

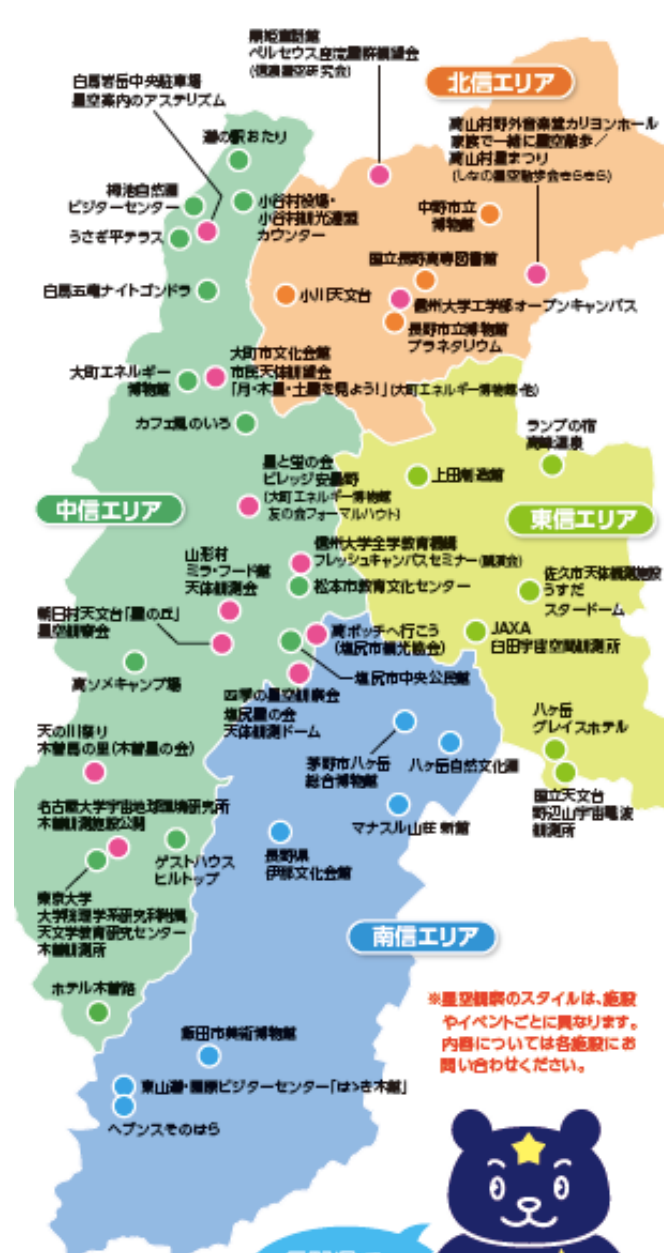


スタンプラリー

第一弾イベント
**「長野県は宇宙県
 スタンプラリーイベント」**
 2017.7.22～ 8.31

スタンプを集めて商品を
 ゲットしよう！

約50の施設やイベントが
 協力して実施しました。



長野県で
 星を見よう！



「長野県は宇宙県」
 イメージキャラクター
 ほしくま

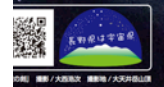
宇宙県
 スタンプラリー
 8月31日
 5日まで

高が日本一の長野県。いい「宇宙県」なのです。施設やプラネタリウム、イベントが盛りだくさん。ぜひイベントをめぐる「宇宙県スタンプラリー」に参加しませんか。集めると数に応じて「グッズ」がもらえます。この夏、長野県を旅して、たくさん作りましょう！

「長野県は宇宙県」イメージキャラクター ほしくま



スタンプ2個で「長野県は宇宙県シール」、4個で夜光るほしくまステッカー、8個で「ほしくまピンバッチ」、16個で「長野県産特製星空早見」がもらえるよ。



主催：長野県立天文台 協賛：天文台協会

スタンプラリー クラウドファンディング 2017.5.18～6.29

目標額: 270万円
達成額: 151.4万円(159人)
その他、寄付など
79.4万円(41団体)

参加人数推計
参加総数: 約16500人
お楽しみシール: 3900枚
ステッカー: 320枚
ピンバッジ: 132個
星座早見: 25個

メディア紹介

さまざまなメディアから取材を受けたり、情報の提供を行いました。

新聞

- 5/24 日本経済新聞 「星空」をテーマに地域おこし拡大
- 5/31 毎日新聞(長野版) 天文スタンプラリー
- 6/26 信濃毎日新聞 天文関連施設巡り「宇宙県」楽しんで 来月からスタンプラリー
- 7/19 しんぶん赤旗 宇宙に最も近い県
- 7/23 信濃毎日新聞 天文施設に親しんで スタンプラリー開始で講演会
- 7/26 日本経済新聞 宇宙・星空を観光資源に
- 8/5 信濃毎日新聞(松本平タウン情報) 今月末まで初のスタンプラリー
- 8/7 日経MJ 宇宙・星好きおいで!
- 8/16 大糸タイムス 「宇宙県」の星空PR 中信23会場スタンプラリー実施中
- 9/20 日刊スポーツ 「星空保護区」

※松本市民タイムスでもご紹介いただきました。

雑誌

- 8/5 月刊星ナビ 2017年9月号 スタンプでポン! 宇宙県をめぐろう

ラジオ、TV

- 6/22 FM富士 「YES MORNING」の「宙のもりもり」コーナー
- 7/7 FMなの 「Welcome!」のしあわせ信州ナビゲーションのコーナー
- 7/24 ジャパンエフエムネットワーク(放送局全国多数) 「Day by Day」
- 8/14 テレビ東京 タカサテライト

イベント

- 7/29-30 信州環境フェア2017にて出展



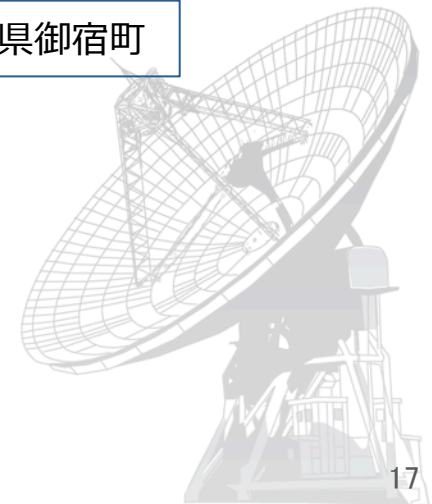
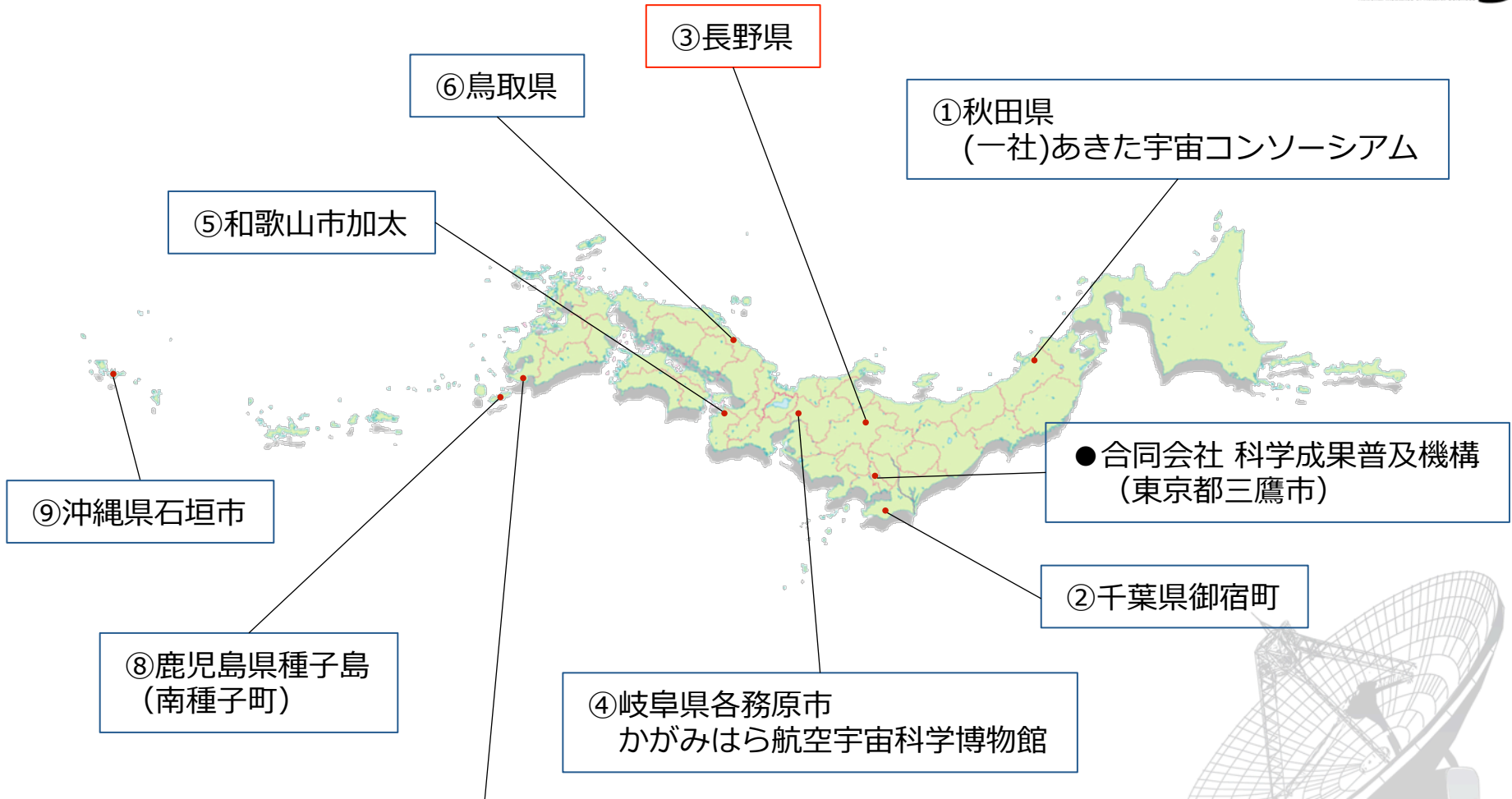
野辺山特別公開2017

☆長野県は宇宙県
 ~信州の星空は
 宇宙へのプロムナード~

8月26日(土) 9:30-16:00
 受付は15:30まで



宙ツーリズム



④ 対象地域の活動概要と写真等

● 合同会社 科学成果普及機構 (東京都三鷹市)

- ◆ 国立天文台の持つ知財を活用し、三鷹に天文台ブランド力を高めるため設立。
- ◆ 国立天文台が開発した4次元デジタル宇宙ビューワー「Mitaka」を身近に使える「Mitaka 3Dポータブル」の販売、プラネタリウム番組や展示等の映像コンテンツ制作、出版や天体観望会等の天文イベント事業を行っている。



① 秋田県 (一社) あきた宇宙コンソーシアム

- ◆ 高校生・大学生が利用できる、国内最大規模のロケット打上等の共同実験場を有する。「能代宇宙イベント」として長年実施。
- ◆ 県内にはJAXA能代多目的実験場、三菱重工田代実験場など、国内有数のロケット燃焼実験場を有する。



② 千葉県御宿町

- ◆ 高校生対象のロケットガール養成講座の合宿拠点。
- ◆ 東が太平洋であり明かりが無く都会に近い星空スポットとして人気を博している。



③ 長野県

- ◆ 「日本の屋根」と言われる平均標高全国一位の長野県。
- ◆ 国立天文台野辺山宇宙電波観測所や東京大学木曽観測所、JAXA臼田宇宙空間観測所など、数多くの天文観測研究施設を有し、阿智村や南牧村など、全国星空調査などで選ばれる美しい星空を持つスポットが数多くある。



④ 岐阜県各務原市 かがみはら航空宇宙科学博物館

- ◆ 国内最大規模の航空宇宙科学博物館がリニューアル中。日本の航空宇宙技術史を俯瞰できる。



⑤ 和歌山市加太

- ◆ 関西以西で最大の高校生・大学生が利用できるロケット打上等の実験場を有する
- ◆ 「天空の城ラピュタ」のモデル地域の一つ「友ヶ島」を有する



⑥ 鳥取県

- ◆ 「星の見えやすさ」で全国1位の夜空を持つ鳥取県。2017年、新たに「星取県」としてブランディングすることにより、観光客の誘致を進める。
- ◆ 鳥取県には、夜の鳥取砂丘、大山に広がる満天の星、星空を眺めながらの温泉露天風呂、さじアストロパークのコテージに宿泊しながらの本格的な天体観測など、星空のショーを楽しむコンテンツがたくさんある。



⑦ 鹿児島県肝付町

- ◆ 「宇宙科学」を重要テーマとして、平成27年にスペースサイエンスタウン構想を策定。
- ◆ 地域活力を維持・増強していくために、射場を活用する取組み等を基本方針として「宇宙資源」をキーワードに取組を進める。



⑧ 鹿児島県種子島(南種子町)

- ◆ 日本最大のロケット発射場・種子島宇宙センターがある。ロケット打ち上げの時には、日本中から多くの宇宙ファンが訪れる。
- ◆ 宇宙センターに象徴される最先端科学技術と、豊かな自然や文化が会い「自然と技術と文化の融合」の実現を目指し、「種子島宇宙芸術祭」を開催。



⑨ 沖縄県石垣市

- ◆ 広い海に囲まれ、光害(ひかりがい)のほとんどない暗い夜空が保たれている貴重な自然環境を有する石垣島。
- ◆ 石垣島天文台は、石垣島・八重山地域の星空を活用した地域及び観光振興、市民や子ども達への天文学に係る教育や生涯学習に寄与している。島の街灯をライティングダウンして天の川を楽しむ「南の島の星まつり」等も行っている



ライバル？

「星取県」

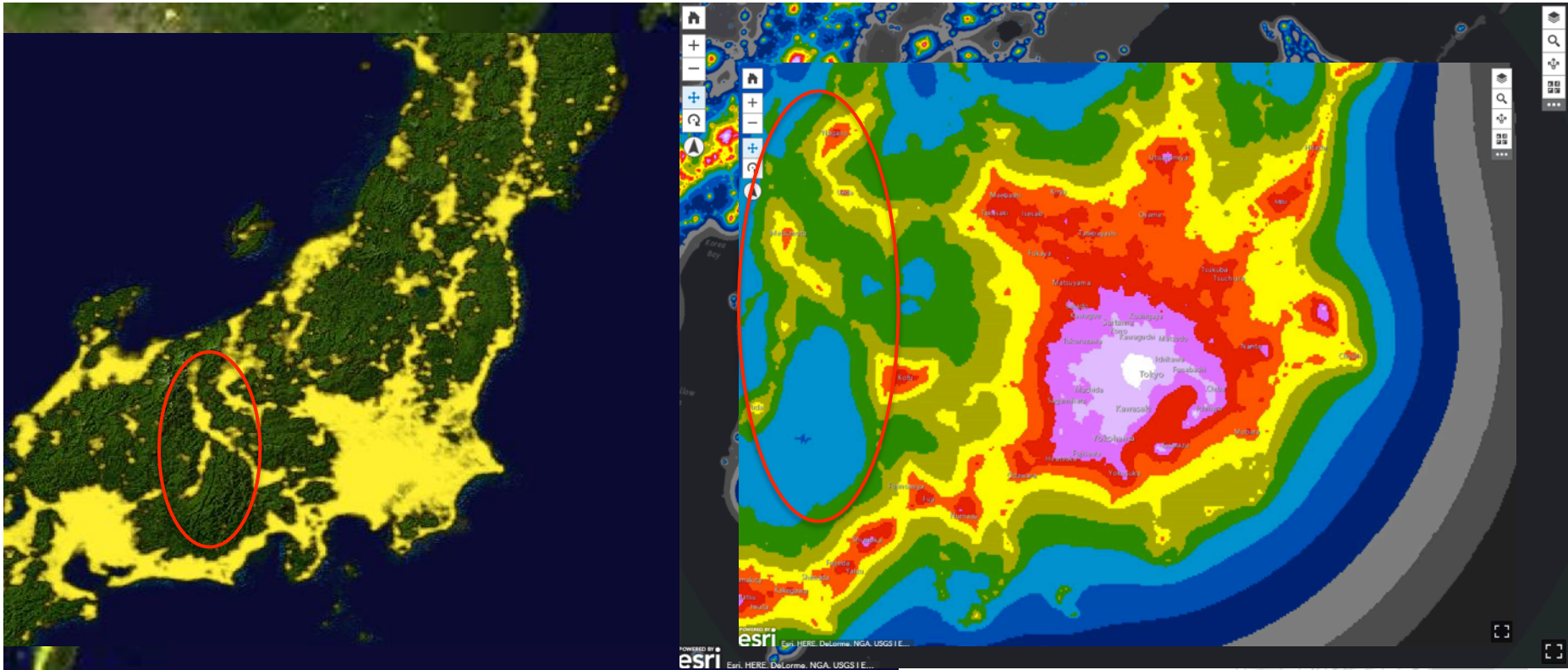
- トップダウン体制？
- 「星空MAP」、「星取県シンボルマーク」、アプリなど
- 「鳥取県星空保全条例」(都道府県で初！)



(<https://www.hoshitori.com/> より)



長野県は本当に暗いのか？



©国立情報学研究所

Credit: Falchi et al., Sci. Adv., Jakob Grothe/NPS contractor, Matthew Price/CIRES.

長野県は本当に暗いのか？

夜空の暗さを調べる試み

- 環境庁、星空公団による全国キャンペーン観察
 - 阿智村(H18夏季調査にて日本一)
- 塩尻星の会、県プラなどによる地域継続測定
- 信州総合文化祭(2018年)にて高校生の発表予定
- 一眼デジタルカメラ、スカイクオリティメータを使用

長野県には夜空の暗いところはたくさんある。
 都市部では明るくても、自家用車で30分～1時間圏内で
 夜空の暗いところに到着することができる。
 標高が高いと星の光が失われずに届く。



POWERED BY Yahoo!

検索

トピックス一覧

新着情報一覧

報道発表一覧

環境Q&A

ホーム

環境省のご案内

政策分野・行政活動

環境基準・法令等

白書・統計・資料

申請・届出・公募

報道・広報

報道発表資料

ホーム > 報道・広報 > 報道発表資料 > 冬の星空を観察してみませんか

平成29年12月11日

大気環境

この記事を印刷

冬の星空を観察してみませんか

環境省では、星空観察を通じて光害（ひかりがい）や大気汚染等に気づき、環境保全の重要性について関心を深めていただくこと、また、良好な大気環境や美しい星空を地域資源（観光や教育）としても活用していただくことを目指し、星空観察を推進しています。

今年度は、平成30年1月6日（土）から1月15日（月）の10日間を、肉眼による冬の星空の観察期間としました。この機会に、是非、星空の観察に取り組んでみてください。

1. 趣旨

環境省では、屋外照明による光害を防止することが重要になってきていること等を踏まえ、「星空観察の推進手法に関する検討会」を開催しました。その検討結果として、本年10月の「第29回星空の街・あおぞらの街全国大会in信州南牧村」において、今年の冬から肉眼による星空観察を、また、来年の夏からデジタルカメラによる星空観察を呼びかけていくことを報告したところです。

今年度は、次の期間を肉眼による冬の星空の観察期間としました。

星空観察は、環境保全の重要性について関心を深めていただく良い機会となります。また、星空を地域資源として宿泊客の誘致に活用する動きも各地で見られ、地域作りにも貢献します。この機会に、是非、星空の観察に取り組んでみてください。

2. 観察期間

平成30年1月6日（土）～1月15日（月）の10日間

（この期間に各自で1日以上観察してください。）

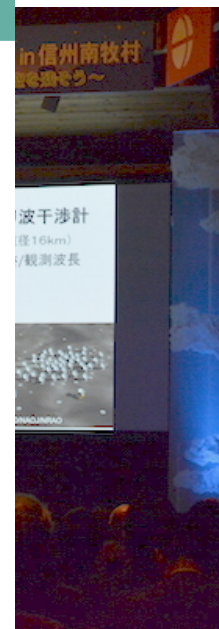
環境省、全国星空観察を再開へ！
(環境省ホームページより)

4. 観察方法

肉眼による観察

第2回「長野県は宇宙県」ミーティング

- + 環境省のご案内
- + 政策分野・行政活動
- + 環境基準・法令等
- + 白書・統計・資料
- + 申請・届出・公募
- 報道・広報
 - ▶ 大臣記者会見・談話等
 - ▶ 報道発表資料
 - ▶ 行事予定
 - ▶ 環境省広報誌 エコジーン
 - ▶ メールマガジン&会員登録サイト
 - ▶ 環境省図書館のご案内
 - ▶ こどものページ
 - ▶ ビデオ・写真ライブラリ
 - ▶ 環境省動画チャンネル (YouTube)



県」に言及
団体個人へ



2012/12/13 @ KISO Observatory by Kouji Ohnishi



撮影地/木曾郡王滝村 撮影/川村 晶

まとめ

「長野県は宇宙県」

- 体制づくり？
- 広報活動などを展開、どこまで周知された？
- スタンプラリーなどのイベント実施
- DCなど関連団体との連携
- 全国各地にて動きあり、星空を文化へ

